

北海道から中国に精米輸出好調!

石狩湾新港管理組合
石狩湾新港外貿貨物利用促進協議会
北海道石狩市新港南2丁目725-1
Tel 0133-64-6661 Fax 0133-64-6666
<http://www.ishikari-bay-newport.jp>

中国向け精米の輸出は

石狩湾新港地域から

農林水産省の発表によると、日本から輸出された農産物は、和食ブームや円安の影響が追い風となり、2022年の輸出額が8,870億円と過去最高額を記録しました。

このうち、精米は、2022年輸出額が73億8,200万円(対前年比24%増)、輸出量が28,928トン(対前年比27%増)であり、いずれも増加しました。

また、主な輸出先は香港やシンガポールなどのアジア圏を中心ですが、一方で大消費地の中国向けは、厳格な検疫基準があることから、764トンと全体に占める割合はごく一部であり、日本食人気の報道などの割には、あまり伸びていない結果となりました。このような中、中国向け輸出は、石狩湾新港地域からが9割以上を占めており、その理由としては精米・くん蒸・コンテナ航路が近接し、効率が良いことが要因の一つと考えられます。

精米輸出の厳しいルール

国内から精米を中国へ向けた輸出するには、精米工場やくん蒸倉庫において、中国が定める厳しい検疫条件をクリアする必要があります。この条件は、検疫対象である

カツオブシムシが長期間にわたり、指定を受けた精米工場は全国に3か所、くん蒸倉庫は全国に5か所あります。(図1)

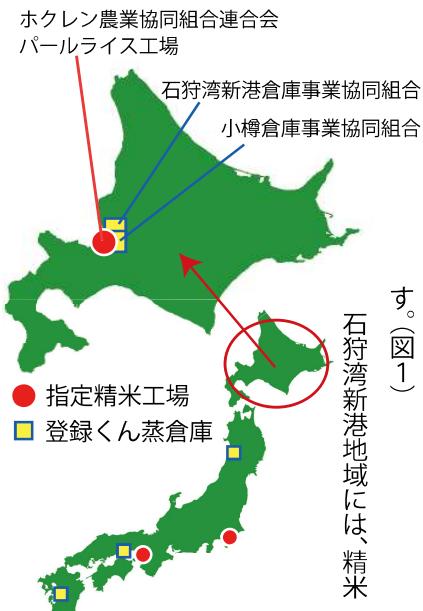
工場「ホクレン農業協同組合連合会・パールライス工場」、くん蒸倉庫「小樽倉庫事業協同組合」「石狩湾新港倉庫事業協同組合」が立地しており、精米・くん蒸に「コンテナ航路を加えた国内随一の輸出拠点となっています。(図2)

特に昨年、精米輸出のほぼ全量となる約760トンが小樽・石狩湾新港倉庫事業協同組合において、くん蒸されました。

輸出目標と高まる道産米の需要

近年、農林水産省では、国内の精米需要が減少傾向に

図1 中国向け輸出の指定精米工場および登録くん蒸倉庫



石狩湾新港地域には、精米工場「ホクレン農業協同組合連合会・パールライス工場」、くん蒸倉庫「小樽倉庫事業協同組合」「石狩湾新港倉庫事業協同組合」が立地しており、精米・くん蒸に「コンテナ航路を加えた国内随一の輸出拠点となっています。(図2)



くん蒸後、パッキングされた精米

図2 石狩湾新港地域の指定精米工場とくん蒸倉庫



コンテナヤードからわずか3km圏内に指定精米工場と登録くん蒸倉庫施設が立地。

今後に向けて

最近では、新型コロナウイルス感染症が収束し、近郊でも外国人観光客も多く見るようになりました。外食需要やインバウンドの増加により、日本食はもとより、北海道米のニーズも高まりを見せると思われ、効率的な輸出が可能な石狩湾新港地域から中国へ向けた輸出の増加が期待されます。

石狩湾新港を映像で紹介!

石狩湾新港の基本情報をプロモーション映像で紹介しています。今年4月の関西物流展では、特に、冬の荷役作業が注目を集めています!

高評価(いいね)、チャンネル登録よろしくお願いします。



は、冷めてもおいしく、安心・安全の北海道産の評価が高まっており、レストランでの飲食のほか、ECサイトでの販売やギフトボックス等の贈答用としても高い人気があります。

久しづりの開催となりました 石狩湾新港説明会

本年2月21日に3年ぶりとなる石狩湾新港説明会を東京都で開催し、船社や物流関連企業等の皆様、300名以上にご来場いただきまし
た。

当団は、本港の最新の利用や、大型物流施設をはじめとした立地が進む本港背後地の状況、また約20年ぶりの大型プロジェクトとなる東地区国際物流ターミナル整備事業などについて紹介しました。

その後は、参加者の皆様同士による情報交換も行われ、大盛況の中、終えることができました。

「石狩湾新港説明会」の様子

は、外國貿易額が過去最高額となりました。

また、港湾区域では14基の洋上風力発電施設が建設中で、年内の運転開始に向けて整備が進められています。一方、臨海部では、「LNG火力発電所」や「バイオマス発電所」、太陽光発電所等が立地しており、本港は北海道におけるエネルギー供給拠点としても大きな役割を担っています。

これからも当組合は、北海道の物流拠点としての一翼を担い、利用者のニーズに応えた港湾施設を充実化させ、より利用しやすい港づくりを積極的に進めてまいります。

ト、サウナとバラエティに富むプログラムで参加者が楽しむことができます。さらに、「ワンちゃんも入場できることから、愛犬家の方や家族連れ、カップルと幅広い来

その後は、参加者の皆様同士による情報交換も行われ、大盛況の中、終えることができました。

本港では、今後も利用者の皆様へ様々な場面を通じて積極的に情報を発信し、更なる利用拡大に努めて参りますので、引き続きよろしくお願ひいたします。

の大型プロジェクトとなる東地区国際物流ターミナル整備事業などについて紹介しました。

A circular portrait of Dr. Toshiyuki Yamamoto, a middle-aged man with dark hair, wearing a dark suit jacket over a white shirt. He is smiling at the camera.

平成4年北海道に入庁、
総合政策部交通政策局交通企
画課交通・物流連携担当局長、
建設部土木局長などを経て、
令和5年6月より現職

石狩湾新港地域の注目スポットや北海道の魅力をお伝えする「ぶ・ら・りしんこうの旅」。第3回目の今回は、6月17日、18日の2日間石狩湾新港地域特設会場で開催されたFEELD GOOD FESについてお届けします。



多彩な体験イベント

イベントでは地域の立地企業のPRブースもありました。そのうち、「はたらく車ゾーン」には、大型重機や建設機械が多数展示され、普段、立ち入りができるない建設現場の重機を間近で見て、触れて、さらに搭乗体験までできるとあって目を輝かせました。

北海道グルメも！

お昼を過ぎ、イベントも気温

せる子ども達で賑わっていました。実際に高所作業車へ搭乗すると、幅広いデッキにスムーズな昇り降りが可能で、会場全体を一望することができて、子どもは当然ですが、大人も大満足の体験でした。

このほか、今話題のサウナブースやオフロードカー体験があり、1日では到底遊び尽くせないくらいでした。

アツサが増していく中、子供から「おなかがすいた…」の声があり、楽しみの一ひとでもある32店舗が展する飲食ブースへ。最初に北道産じゃがいもを使用した「potatoFriend's」のハイドロポットにかけ早速注文。揚がるのを待つと数分、あつさり塩味と道産じがいもならではの甘みが感じられるアツアツホクホクの一品で

A photograph of a stage at an outdoor event. A woman in a blue dress is performing on stage, and a large crowd of people is watching from the foreground. A banner above the stage reads "STAGE SHOWDOWN".

かれ早速注文。揚がるのを待つ
と数分、あつさり塩味と道産じ
がいもならではの甘みが感じ
れるアツアツホクホクの一品で
た。続いては、熱さで汗が噴き出
てきたため、「トリノス」のミル、
ジエラートを注文。北海道産ミ
クは濃厚ですが、後味はすつきり

た。続いては、熱さで汗が噴き出てきたため、「トリノス」のミルジエフードを注文。北海道産ミルジエフードは濃厚ですが、後味はすつきり、「北海道産」のボテンシャルの高さを再認識しました。

今回、初日のみ参加でしたが、アウトドア好きに限らず、また様々な世代が楽しめるイベントで、これまで知らなかつた新港一面が見られ、来年の開催も楽しみです！